



1 近所の方とのつながりづくり

過去の災害では、日頃から居住者同士のつながりがあるマンションは、発災直後に居住者が自然と集まって助け合いました。マンション全体の防災力を向上させるためには、何よりも同じ建物で暮らしている人と人とのつながりが大切です。

1 同じフロアに住む人を知っていますか?

マンションに住んでいる人たちは、皆さん顔見知りでしょうか?

災害が起きて、普段から挨拶するなどの交流があると、お互いを助けることができます。例えば、大きな地震があった場合、自分と家族の安全が確認できた後に近所の方のことが気になり、「大丈夫ですか?」と声をかけ合うなど、お互いのことを気遣ったりすることにつながります。

まずは、住んでいる人同士が「あいさつ」するマンションを目指しましょう!

やってみよう! あいさつ・声かけから始める「つながりづくり」

同じマンションに暮らしているとはいえ、居住者は様々な価値観を持っています。賃借人がいる場合もあります。コミュニケーションが苦手な人や忙しい人もいて、行事やイベントに参加するのは難しいこともあります。昔のように深い人間関係を築くのは難しいかもしれません。

そこで、簡単なあいさつや声かけから始めてみませんか?

理事会のメンバーが先頭に立って、居住者の皆さんにあいさつや声かけをしましょう。最初は勇気があるかもしれませんが、地道に続けていると変化が生まれます。

一歩踏み出して、マンション居住者のつながりづくりを始めましょう。



災害事例

顔を知っていた、それが「共助」につながった

夜中1時頃、マンションの住戸で就寝中に大きな揺れがありました。2日前よりも大きな揺れに身の危険を感じて、家族で避難所に行こうと、部屋を飛び出しました。3階の自宅から階段を下りているときのことで。母が「2階に一人暮らしで足の悪いおばあさんがいた!心配だから声をかけてみようか。」と、インターホンを押しに行きました。おばあさんは一人では避難するのが難しいと悩んでいたようで、声かけにとて喜んでくれました。私たち家族と一緒に歩いて避難所に向かっている途中、今度は知り合いの居住者の方に出会いました。席が空いているからと、避難所まで車で私達を送っていただきました。



普段はあいさつをする程度の関わり合いしかありませんでしたが、「顔を知っている」だけで、いざという時にはご近所同士の助け合いにつながることを実感しました。

〔熊本地震(平成28年4月)(熊本市 10代 女性 大学生)〕

2 防災への関心づくり

マンション防災の取組は、各居住者の「自助力」とマンション全体の「共助力」の両方を高める必要があります。防災の組織が立ち上がっていても、まず高めておきたいのが「自助力」(一人ひとりが自分や家族の命を守る力)です。

1 防災への意識を高めるきっかけをつくりましょう

マンション防災のスタートは、居住者の「自助」の力を高めていくことです。自助力が高まると、発災直後のケガを減らし、安否確認や初期消火に協力するメンバーが増え、マンションの共助力も高まります。

まずは、各居住者に防災について興味を持ってもらえるよう、防災に関する情報に触れる機会をつくりましょう。

やってみよう! 掲示板を活用して、防災に関心を持つきっかけをつくる

掲示板やエレベーター待ちのスペース等の目につく場所に、居住者が興味を持ちそうな情報を載せたチラシやポスターを貼ってみましょう。

〈掲示板の活用(例)〉

1 『品川区防災地図』(ハザードマップ)の掲示

『品川区防災地図』の中で、マンションの地域が掲載されているページを見つけ、マンションがある場所に○をつけ、そのページを掲示板に貼りだします。
※ハザードマップは、区ホームページからダウンロードできます。
被害想定や避難先を簡潔にまとめたチラシを作成し、貼りだすのも良いでしょう。



品川マンション 防災情報 ①

首都直下地震 (都心南部直下地震 M7.3)

- 区内の多くが震度6強
- 当マンションのある地域は地区内残留地区です(大規模な延焼火災のおそれがなく、広域的な避難を要しない区域として都が指定)
- 区民避難所 ○○小学校

2 防災チラシ・ポスターの掲示

防災に関するチラシやポスターをつくり、管理組合の名前で掲示板に貼りましょう。チラシをコピーして全戸配付しても良いでしょう。

- 手始めに資料編の「附票4-ポスター『安心して在宅避難生活を送るために』」を貼り出してみましょう
- 『マンション内ではあいさつを心がけましょう。』といったポスターを掲示するのも良いでしょう

このガイドブックから直接切り取って使用することもできます!

安心して在宅避難生活を送るために

なぜ在宅避難が推奨されるの?

Q.避難所に避難しないと、物資がもらえないのでは?

A.在宅避難も区民避難所で物資を受け取れます

Q.在宅避難を選択するメリットはなんだろうか?

A.在宅避難にはメリットがたくさんあります

準備ができて、安心して在宅避難生活を送ることはできません。早速、在宅避難のための準備を始めましょう!

住戸内の安全確保 防災グッズの供給停止に備える

避難経路、ラッシュ 避難所までの準備

避難所とのつながり